

刊夕日九廿月一十



定額一圓五角... 發行所 常新日新聞社... 印刷所 常新日新聞社

信仰身の上相談

眞 繼 雲 山

裏切られた世相
私は三年前に或る勤め先をやめ、小賣商を始めました。以来、正直と親切を信条として營業してまゐつてゐるのですが、正直なためいつも裏切られ、ひどい目に遭ひます。心ならずも懸引を覚えるやうになる。道に反する行爲を悲しみます。しかし私共の周囲にも親切に人様のために盡くしてゐられる人の家計がいつも不如意がらで病人が絶えません他人の事など振り向いても見ない利己主義の人が却つて金持で幸福にくらしてゐるのを見受けます。とくに、ひとことながら腹立たしく、神も佛も...と考へることすらありまして自分の修養の足りないのを恥づかしく存じ、無我の世界をあこがれつゝもしつかりとそれをつかみ得ぬ自らを悲しく存じます。良夫は「それは山の中へ入るか死んでしまはねば駄目だ」と笑つてゐますが、子供もだん／＼大きくなり、ますますのん／＼と行かばき道をシツカリと教へてやうに思ひます。信仰の上から、斯うした世相を如何に眺め如何に身を處してゆくべきでありませうか(△△市惱める母より)

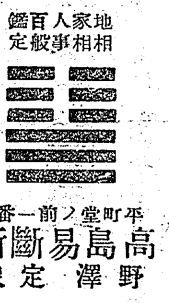
【答】御承承知の通り佛教

は因果を本則といたし、善にも惡にも必ずそれだけの報ひはあると説きます。佛敎とは何ぞやといへば、因果律を本則として説いた敎へだと申しても差しつかへないのであります。然るに現實の社會は、あなたがその周囲の例を引かれるまでもなく、善人が亡びて惡人が榮えてゐる實例は今も昔も甚だ多いのであります。むかし支那の盜跖といふ大泥棒は富みて永生きいたし、顔回といふ聖人は貧窮にして夭折したといふ話は、この場合しばしば引合ひに出される話であります。太陽は燄を放つて燃えてゐる大火球だその最大の燄は高さ實に十六萬二千哩に及ぶと云ふ。尤も常識的には或る程度までは、この世限りで決濟はつてゐるとも考へられぬ。不養生して病氣から短命、泥棒をして懲役にゆくの類であります。しかし、人殺しをして犯人が捕まらずに迷宮入り、のまゝになつてゐます件も澤山あります。殺した奴はつかまらずとも他の方法で不幸に陥り、それだけの報ひを受けつてゐるであらうとも考へられ

ノート

太陽は燄を放つて燃えてゐる

【朝】煎りたまご... 【晝】焼肉... 【晩】わん／＼... 角もあれ、この世で報ひが來ぬものなら、悪いことは仕徳といふことに考へる人が無いとは限りません。大かたはさういふ打算的な思想が現代を支配してゐると思ひます。尤も常識的には或る程度までは、この世限りで決濟はつてゐるとも考へられぬ。不養生して病氣から短命、泥棒をして懲役にゆくの類であります。しかし、人殺しをして犯人が捕まらずに迷宮入り、のまゝになつてゐます件も澤山あります。殺した奴はつかまらずとも他の方法で不幸に陥り、それだけの報ひを受けつてゐるであらうとも考へられ



【一白】金錢問題て一と苦勞の生る苦難の日なれば萬事忍耐して努力せよ南北凶【二黑】我が身の法立の念起る日水火の難に注意して南北凶【三碧】新企畫に直して念起るも古き事件に心配ありて延々す可し未申丑寅凶【四綠】金錢問題て家内に不和を起すか長男長女の件でござんす事あれば東西凶【五黄】金錢縁談取り引き

て他... 得る吉日戌亥辰巳凶(六白)と總て此の一件は如何せんといふ苦勞の増す日なれば萬事に注意肝要用(七赤)金錢縁談取り引き等に遠行して吉利を得る日戌亥と辰巳は凶【八白】金は手に入り貴ひ物はあり長男長女の喜悅のあり日東西凶【九紫】古きを捨て新金の革心に進んで吉但し病氣怪俄に注意して未申丑寅は凶なり

外科

X線科
性病科
科科科
安齊外科醫院
平町田町
電話四七五番

オレンヂパスタ

無効ならば返金します
試薬無代... 反應即座
適應症
神經痛、頭痛、腰痛、肩痛、手足麻痺、消化不良、便秘、頭痛、腰痛、肩痛、手足麻痺、消化不良、便秘、頭痛、腰痛、肩痛、手足麻痺、消化不良、便秘

桑原整骨院

代理店 桑原整骨院
電話六七四番

永山酒店

最優等賞 於福島縣第九回清酒品評會
席優等賞 於東北六縣第六回清酒品評會
濱三郡特約店 永山酒店
平・田町 電話二〇七番

宗正らひた

美味! 芳醇!
山崎合名會社
電話一〇番

看護婦急派

の求めに應じます
平町南町
平看護婦會
電話三〇七番

民間裁判官

平町の陪審員

けふ抽籤決定

既報平町の陪審員候補者抽籤は本廿九日午前十時より町役場會議室に於いて執行資格者四百七十七名のうちから左記十九氏が當選した

紺屋町緒形維親 二丁目 根本榮介 山崎孝之助 月見町根本品藏 鍛冶町吉田由三郎 南町鈴木彌太郎 岡山克己 番匠町

堀江正直 田町飯沼林一郎 久保町永山義太郎 長橋町吉村清藏 五丁目 植村喜一 大工町永島庄次郎 大町山野邊陽三 丁目猪狩嘉平 材木町中村清助 研町佐々木左一郎 中町四家榮治 新川町阿部英次郎

御眞影を

遙拜して

村會を開く

石城郡警崎村ではやゝともすれば亂れ勝ちなる村治の肅正を圖る爲め今後村會を開くに先立つて議場には御眞影を奉安全員遙拜して議場の神聖を誓ふことになつ

第一小學校有の

桐の立木を競賣

平町では第一小學校の基本財産とする爲め丹後澤地内同校所有林の桐の立木を來月一日午前十一時より役場會議室で公賣に附すると

獵區設定

平營林署が

平營林署では明年から石城郡永戸村の國有林六千町歩と夏井川沿岸に獵區を設けて増殖計畫を樹立すること

第三方面

女青總會

平館に開く

石城郡聯合女子青年團第三方面本年度總集會は來月下旬頃平館に於て開催され

ブラチル移民

獎勵の講演會

本縣主催ブラチル移民獎勵講演會並に映畫會は左記の如く郡下各町村小學校で催されるが講師は拓務省の富永季三郎氏である

十二月一日植田、二日玉川、三日江名、四日平窪

珠算競技

平商で開催

平商では明日午後一時より同校講堂に於て全校生の珠算競技會を開催するが種目は見取算、讀上算、掛算等で賞品は全學生を通じ三名及び各學年五名宛授與する

常設館たより

平館 日活現代劇瀧口新太郎伊澤一郎主演「母

活動寫眞を催すと

代劇林長二郎、飯塚敏子主演「菊五郎格子」松竹發聲現代劇團讓二、田中絹代主演「應援團長の戀」

平町人事

△正月町五八 當時仙臺市道町一九二渡邊留三郎氏四男隆

△結婚 姻 紺屋町四四 關野豊松氏 (二九) 茨城縣湊町字泉町 長田ステ(二九)

兎・賣り急ぐな

陸軍で相當高價に買上る

郡下農村の養兎は現在一貫目二圓五十錢位で賣買されて居るが仲買商人は一圓十錢位の低値に買取つて居るので郡農會では陸軍の現地

巷の話題

カクテルの悲哀

新瀉縣越前村の自轉屋さん早井堪兵衛(假名)どん、久しぶりで新瀉に出たので村への土産話にもと、兼て聞いてゐたカクテルでも飲んで大いに通ぶつてやうと「おうと、ねえさん、このバア・テンは、おもしろいからうな、一ツ老

酒にアワのカクテルと頼まうせ」てなつてんばいに二十數盃を平らげ、お會計十六圓也の請求に目を白黒警官立會の上拂はされてすこすこ歸つて行つた——日頃ベタルばかり踏んでゐてカクテルの値を踏まなかつた失敗

茨城縣結城町稻葉伸一

(三)クン友人數人とカフェーに遊びに行き飲むほどによふほどに氣焔萬丈、およそ人間は趣味に生きねばツンだ、例へそれがバクチで

研究教授指導

石城郡第三區第一方面平、内郷好間、飯野各小學校教員の

研究会は來る十二月四日午前九時より好間村尋常小學校に於て開かれるが當日は普通授業研究教授及帳簿並に一般施設の視察等で批評懇談もある由

何れが正しきや

「有難えぞ、飛行機も斯う飛ぶように賣れてこそ軍國日本様々」とホク

和氣あい景

「まア、あなつたら、お役

正木織物店ノ生命也

絹織物、正木織物店へ

開業三十五週年を祝するため

二割引にて大々的勉強御註文に應ず

御註文ノ時(呼出六七四番)へ店員伺ヒマス

平町字新町貳貳番(公園下)

白生地 正木織物店

賃織販賣

旭硝子株式會社製品

赤菱印

板ガラス

製造販賣

菓 子 壘

硝 子 食 器

其他 各種

松崎硝子製作所

平町新川町(電話一四二番)

支店 仙臺市榮町(電話五九七番)

農家の

子弟つかれる 工事出動の過勞から 補修成績低下

郡内各村の青年子弟は目下各種工事に出動してゐるの
でこれら各町村における補
修學校の夜間授業は出席率
悪くたとひ出席しても疲勞
してゐる爲め成績が非常に
低下し憂慮されてゐる

極貧救濟

僧侶托鉢

平町共濟會では年末の極貧
者救濟に關して目下各區長
を通じて調査を進めてゐる
が町内各寺院僧侶よりなる
善華會でも來る十日より淨
財を得る爲め托鉢する由

堀江工業の

金庫を覗つて

忍び込んだ元雇人

江名町宇仲ノ作生れ元平町
搔樋小路堀江工業會社雇人
吉田代(ニ)は去月中肩書會
社を解雇された處去る廿七
日夜十一時頃同會社の事務
室に忍入り金庫の大金を窃
盗せんと鍵を見付け出して
符號を合はして居る物音を
家人に發見され一物も得ず
逃走した届出により平署で
捜査中昨廿八日新田町料理

落盤即死

内郷村磐城炭礦町田新斜坑
内で本廿九日午前六時頃落
盤就業中の坑夫同村大字宮
澤字竹ノ内居住廣瀬六藏
(三)は下敷となつて即死し
た

哀れな

失業者

救濟願出

伊達郡餘野村生れ鈴木徳松
(三)は去月中勤先の崎玉縣
川口町の鑄物會社を失業し
たので郷里へ引揚げの爲め
三日間飲食はせずの徒歩
旅行を續けて昨廿八日夜平
町に辿り付いたが歩行困難
となり平署に救濟方を願出

秋刀漁は終り

鮪漁に乗り出す

郡内の大型漁船は秋刀漁を
打切り鮪漁に出動すること
となり江名町盛厚丸他二船
は既に出港した又縣水産試
験場の磐城丸も近日中に鮪
漁場調査に向ふ筈

鐵ペラで

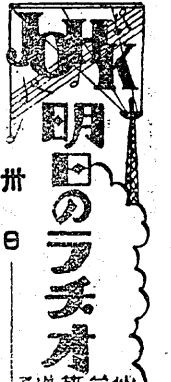
頭を殴る

平町南町六八料理店齊藤一
(二)は昨廿八日午後六時頃
同家の雇人川前村宇宇島生
れ松木富清(三)と些細の事
から口論を初め料理用の鐵
ペラを振つて松本の後頭部

村長の公印盗用

公文書偽造事件豫審終結

既報飯野村大字上荒川宇福
ノ内一〇九農佐藤泉一(三)は
に對する公私文書偽造行使
詐欺事件は過般來平支部に
於いて荒井判事係りの下に
豫審中の處本日終結有罪と



今夜も明日も北西
の風天氣良し

今晚の部
後六、〇〇(子供の時間)
お話「火事に氣をつけま
しやう」緒方進一郎
後六、二五 講演「外客誘
致について」高久甚之助
後八、〇〇 落語「粗忽の

使者「三升家小勝」
後八、三〇 義太夫(掛合)
野澤語勇社中
後九、〇〇 新内「小春治
兵工名残姿見」(小春内
の段)富士松喜遊外數名
後九、三〇 時報「ニユー
ス 氣象通報 番組豫告

之(六)に情を打ち明け村長
の公印を盗用印鑑證明書を
偽造作成し實父事次郎所有
の田畑約六反歩を抵當とし

水泳兒の空死

番人の不注意

略式で罪金百圓言渡

既報平檢事局では過般來去
る八月十四日午前八時頃好
間村大字愛谷農定藏氏次男
勝沼新吉(三)君が同僚二三
名と共に同村愛谷堰附近に
於いて遊泳中鐵製閉堰に挟
まれ窒息した事件は番人夏
井村大字下大越字高畑二〇
農船尾泰孝(五)の不注意に
基くものであると認め活動
を開始三堀檢事係の下に取
調へ中であつたが此程起訴
確定本日業務上過失致死罪
として略式罰金百圓に處せ
られた

年賀取扱

申込殺到

平郵便局では十二月二十日
より例年の通り年賀郵便特

明日の
前七、〇〇 基礎獨語講座
(三十一)橋本忠夫
前九、一〇 料理献立
前一〇、三〇 家庭講座
マツシエワイクテーブル
掛(二)小林廣子
後〇、〇五 映畫物語「霧
苗の波止場」芝田櫻華伴
奏指揮 福田宗吉
後二、〇〇 家庭大學講座
「カナダの話」永岩彌生
後五、三五 受驗講座「幾
何」高見豊

後六、〇〇 子供の時間
童話劇「オランダへ渡つ
た日本の子鬼」J.O.A.K
唱歌隊
後六、二五 英語講座(四
の五)終講 渡邊半次郎
後七、三〇 講演「駿河大
納言」實井翠凌
後八、一〇 常磐津「新荷
雪間の市川」新山姥浄る
り常磐津三東勢太夫外
後八、四〇 浪花節「赤垣
源藏」吉田奈良丸

市原醫院

平町 田町
電話二一四番

御用命は印刷物の
常磐毎日印刷株式會社
電話三六〇番

銘劍秘笈録

【禁無斷轉載上演映畫】

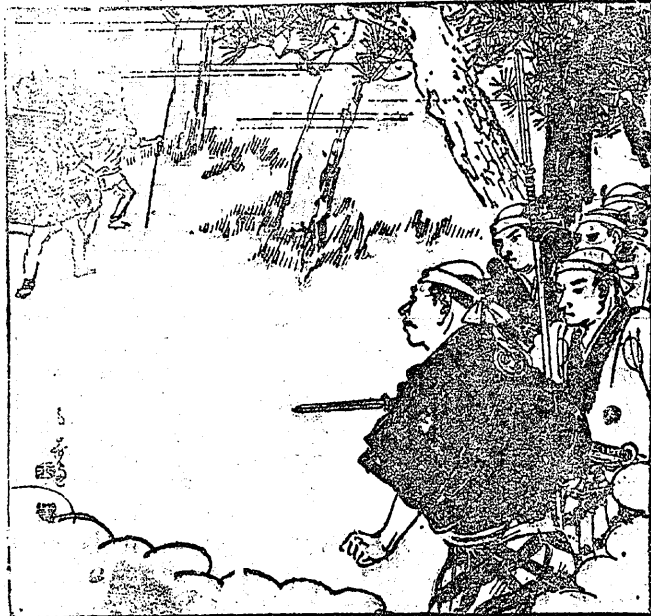
寶井馬琴 演
山本英春 畫

第一百一回 徳川家に崇る村正

鶴の一聲に静まる
 扱てそこで老人らしいのが先へ立つて介抱致し、若い奴等は小さな聲で

△「彼が岡崎の奥様かお美しいもんだやアねえか、私共がお見上げ申さうと云つても出来ぬ事だが、荻谷まで送つて呉れると有難いお言葉」

致して二百人餘りの同勢、背武器を携へ、甲冑こそ着けざれども甲斐しき扮装にて砂煙を立つて来る處此方は小川領の百姓共、十四五名と云ふもの鎮守の神輿でも擔ぐ氣になつて、ヤツチヨイ〜と掛聲して擔いで行く、中に一人



◇「イヤ然し大勢では面自くない、俺が一人御用を仰せ付けられたから俺があつた奥様を背負つて行きてえものだな」

×「無駄を云ふな勿体至極もねえ事を云ふ汝のやうな汚い者に背負つて呉れると云ふ奥様があるものか、そんな駄目を云つて役人にでも知られると首をチョン斬られるぞ、サア行け」

と今までは立派な御殿に入れられておはしたるお大の方も見ると賤しき農民に口を交して小川領より致して荻谷を差して松並木を急ぎ行く、其時までも岡崎送りの人々に於ては森林の内に身を隠して其行手を眺め何うぞ無事にて荻谷まで御下城あるやうにと忍んで窺つて居たのは主従の情合でありませう、處へ荻谷から

○「コレ〜其のお裾の内に御座らつしやるは生きた奥様だ、お神輿ぢやアなしんなに擔ぐものぢやアない真直ぐに擔いで行け」と是を制し、漸う少

静かにして参ります内に前申しました侍共は水野下野守の命に依つて人を選んで出したるものと見え高木善次郎、水野太郎作の兩人頭となつて足經百人、鐵砲こそ持ちませんが薙刀槍、總て殿しき武器を携へ何れも殺氣を含んで進み来りしが先に立つたる高木、水野右の輿を打眺め

善「コレ〜其方共、汝等怪しき姿を致して斯かる美麗の女輿物を擔いで来るは何か仔細がなくては叶はん元來汝等は何者にて何故あつて此の輿物を擔いで来しぞ」

○「ヘ〜私共は岡崎の

善「ナニ岡崎から送りの人々が此の松並木へ御婦人を捨て立歸つたと云ふた、怪しからん事をする奴である遠くは行くまい、後追駈け」

と一同血氣の逸夫なれば後を追駈んとす様子、堪りかねたる奥方が御こしの内より優しきお聲を掛け給ひ

大「コレ〜控へよ、荻谷よりの迎への者共、妾の身體は是れにあり立騒いで尾籠千萬、只汝等は妾をば荻谷城まで送り届けて呉れますれば、其にて役目はすまませう徒らに事を望んで戦争沙汰に及ばずとも、神妙に致して居れ」

と鶴の一聲に、高木水野の兩人は、ハツと大地に手を仕へて頭を下げ

善「さるにても岡崎方、まだ三里餘りの道を只一人の御女性を御こしの儘に捨て参るとは不埒至極」

大「アイヤ其は岡崎の者共決して不行届きと云ふのではない、妾から強つて事を分けて送りし者を返したのであるから早々荻谷へ歸して呉れよ、追々往來の人も立止り、何にも知らぬ旅人にまで恥かしき妾の姿を見せるのが汝等の本望でもありませんまい、一刻も早く無事に荻谷へ送つて給はれ」

と云はれ一同力なく

善「扱々残念至極の事である、下野守殿からは下知を蒙り、岡崎の奴等を途中に討つて締め、塵殺しに致しておこし物を奮ひ取つて

來よとの事に、腕前を現はすは此時なりと思ひしに奥様の上意に依つて途中にて岡崎方を歸したとは扱てもさても張合の抜けた事、又歸る奴も歸る奴、腰拔の岡崎武士、残念な事でごさつた」

と戦國の憤ひとは云ひながら、兎角殺伐を好む人心張合なくも奥方を御こしに入れて一同が、警戒をして行列を立つて荻谷を指して急いで行く

○「モシ〜百姓共にはモウ用はございませんかな」

善「イヤ汝等に用はない神妙に致して居れ」

○「何だ駄目な事だ」

と小川の百姓は手持無沙汰で面々家路を指して立歸る。

科人婦科外
院醫坂井
町田町平
番九五五話電

美味で！
評判の……
イワキ
サロン
電 352

咽喉專門
入院 應需
平町田町七〇番地
山内醫院
醫學士 山内亨吉
電話六九一

貸切の●●●
御用命は!!!
獅子吼(四四九ノ勢デ)
眞先ニ……(マツサキ)
三九ニタクシーへ!!!

感じの良！
客に親切な……
阿部薬舗
平・田町(松月堂向)

薬種賣藥、工業藥品
衛生材料、各種染料
化粧品、其他

磐城セメント會社特約店
久松屋商店
磐城平町五丁目 電話九番九九番
良品廉賣に勝る商略なし
確實敏捷は……の生命なり